

産経新聞朝刊記事 2023年2月25日掲載

## 「キャンプ場利用者が救援金」

ロシアによるウクライナ侵攻開始から1年を迎えた24日、リリーアカデミーキャンプセンターがウクライナ国民や避難民らの救援金として、19,315円を日本赤十字社茨城県支部へ寄付した。

同センターでは、利用者らにウクライナ問題への関心を持ってもらおうと、キャンプ場にウクライナ国旗と同じ青と黄色のテントを設置。7月下旬から募金箱を置き、支援を呼び掛けた。



【写真・一般社団法人茨城県キャンプ協会提供】

この日、センターを管理運営する県キャンプ協会の園部高生会長が日本赤十字社茨城県支部を訪れ、「キャンプを通して社会貢献をしたいと考えて募金活動を行い、多くの人に支援をいただいた。ウクライナの人道支援へ活用いただきたい」と救援金(利用者からの募金)を渡した。

(文章・三浦馨支局長より抜粋)

『キャンプ場ご利用の皆さまのご支援により、ウクライナへ救援金を送りことができました。心から感謝いたします。ウクライナ侵攻が続く限り、県内のキャンプ関係機関と共に今後もキャンプ場として、支援の輪を広げてたいと思います。何卒よろしくお願い申し上げます。』

【写真・日本赤十字社茨城県支部提供】

